

はじめに

平成 25 年 12 月に「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。日本人の暮らしや伝統文化と一体で受け継がれてきた点や、季節感や地域ごとの多様性、また自然との調和等が評価されたということです。奈良市には、「奈良のっぺい」や「茶がゆ」など、年中行事と深く結びついた食文化や、大和茶や古都華、ひのひかりなど品質のよい地域の農産物など、地域の多様性をみとれる資源があふれています。一人ひとりが地域の食を見つめなおし、子どもたちへ伝えていくことが大切なのではないでしょうか。

本市では、食育基本法（平成 17 年 6 月制定）に基づき、生きる上での基本となる食を見直し、食育を市民の皆さまとともに進めるべく、平成 20 年に 5 カ年計画の「奈良市食育推進計画」を策定し、様々な取り組みを行ってまいりました。

しかし、時代の変化に伴うライフスタイルや食習慣の多様化はさらに進んでおり、食を大切にす意識や健全な食生活が失われつつある「食の崩壊」と言うべき現状ははまだ解決されたとは言えません。食べることは生きることです。食の安全性や地産地消への関心の高まりを追い風として、今後も継続して食育に取り組んでいくことが重要です。

そこで、食育に関わる本市の課題を整理し、第 1 次推進計画の基本理念はそのままに、新たな基本方針と 6 つの行動目標を設定し、「人」と「まち」にスポットをあて、ライフステージごとの取り組みポイントを明記するとともに、食を通して各種団体が情報を共有し、連携しながら食育協働ネットワークの構築を図ることを目標といたしました。この計画に基づき食育の取り組みを実践していくことで、市民の皆さま一人ひとりが豊かな心と健康なからだを培い、健康で豊かなまちづくりにつながることを願っております。

最後に、本計画策定にご協力いただきました奈良市食育推進会議の委員の皆さまをはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等で貴重な意見をいただきました多くの市民のみなさまに心からお礼を申し上げます。

平成 26 年 4 月

奈良市長 仲川 げん



ひのひかり

ことか
古都華

大和茶の茶畑

都祁小学校給食試食会にて

～ 目次 ～

はじめに（市長挨拶）

第1章 計画について

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の理念と基本方針	2
3. 計画の位置づけ	3
4. 計画の期間	3

第2章 奈良市の食育施策と取り組み

1. 6つの目標	4
2. 食でつながる「ひと」と「まち」	7
3. 「ひと」～昨日から明日へ 一生をつなぐ「食」～	8
4. 「まち」～みんなつながって生きている～	10
5. 目標値	12
6. みんなですすめる取り組み	13
(1) 実感してもらおう取り組み 一深く一	
(2) 思いを伝える取り組み 一熱く一	
(3) 知ってもらおう取り組み 一広く一	

第3章 計画の背景

1. 奈良市の現状	16
(1) 人口構造	
(2) 産業構造	
(3) 食料自給率	
(4) 農業就業人口	
(5) 品目別農業産出額	
2. 奈良市「食育」に関する意識調査	20
3. 第1次計画の評価、目標達成度	40
4. 奈良市食育行政事業	42

資料編

1. 伝統行事と食文化	48
2. 奈良市の伝統食	54
3. 奈良市の食材	55
4. 策定経過／推進会議設置要綱／委員名簿	57